

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業

建設整備事業

事務事業の段階

計画 事業化 事業 管理

政策名	3 夢のふくらむ港			24年度事業・個別施策評価結果 (今後の取り組みの方向性)			責任者	港営部 関連事業担当課長
基本施策名	04 うるおいと魅力のある港湾空間の形成			事務事業	成果	コスト	連絡先 052-654-7836 連携課 施設工事担当	
個別施策名	13 人びとの交流の場を充実する			継続	拡大	維持		
事務事業名	03 名古屋港水族館の管理運営			継続	拡大	維持	事業期間	平成18年度～継続
目的	名古屋港水族館を効率的・効果的に管理運営し、多くの人々が訪れる施設にします。						根拠法令等	指定管理者による公の施設の管理に関する条例 名古屋港水族館条例
概要	定期的な連絡調整会議やモニタリングにより、指定管理者への指導・助言を行い、施設の良好な維持管理と高質な利用者サービスを提供します。						実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
平成25年度の実施予定	平成24年度に引き続き、定期的な会議、モニタリングを通して、指導・助言を行っていきます。また、平成25年9月開始予定の「サンゴ大水槽」の改修計画を進めるとともに、高質な利用者サービスが維持できるように指定管理者と協議します。						関連シート	

2 DO(実施)

平成25年度に実施した内容・結果	ソフト面では、定期的な会議、モニタリングを通して、指導・助言を行い、施設の良好な維持管理と高質な利用者サービスを提供しました。ハード面では、平成25年9月から「サンゴ大水槽」の改修計画を進めるとともに、3月にプレオープンとして個水槽の展示を開始しました。							
コスト(年度)	単位	21(実績)	22(実績)	23(実績)	24(実績)	25(実績)	合計	備考(款項目節等)
事業費計	千円	0	0	0	247,700	747,601	995,301	(款項目節)歳出: 港営費/運営費/文化厚生施設費/負担金補助及び交付金(公益事業補助など)110,688千円)
一般会計	千円	0	0	0	247,700	747,601	995,301	港営費/運営費/文化厚生施設費/使用料及び賃借料(シャチ賃借96,000千円)
事業会計	千円							建設費/整備費/改修費/工事請負費(サンゴ大水槽など493,648千円)
その他	千円							建設費/整備費/施設補修費/工事請負費(南館自家発電設備補修など20,265千円)
人員費計	千円	10,298	10,177	10,344	10,459	10,512	51,791	港営費/運営費/文化厚生施設費/委託料(サンゴ大水槽リニューアルに伴う代替雇27,000千円)
正規職員	人	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20		(算出計算式)
嘱託職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		(その他) 水族館の管理運営費は、指定管理者により入館料等の収入で賄われており、本組合からの支出はありません。 工事請負費は平成24年度より計上して記入しております。
合計	千円	10,298	10,177	10,344	258,159	758,113	1,047,092	

3 CHECK(検証)

活動・成果指標(単位)	年度	21	22	23	24	25	中間目標	25	備考(指標の算定方法など)	
定例会議・モニタリング回数(回)	目標	39	39	29	29	29		29	平成23年度より、定例会議を月2回から月1回に変更しました。	
	実績	40	39	29	29	29				
	達成率(単年度%)	102.6	100.0	100.0	100.0	100.0				
	達成率(累計%)	-	-	-	-	-				
入館者数(万人)	目標	200	200	200	200	200		200		
	実績	172	176	179	199	204				
	達成率(単年度%)	86.0	88.0	89.5	99.5	102.0				
	達成率(累計%)	-	-	-	-	-				
平成25年度までを総括した必要性・有効性・効率性の確認			判断理由(課題の抽出)					その他特記事項		
必要性	どうしても必要な事業か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ×	現政策体系の5年間に於いて、水族館は、個別施策の「人々の交流の場を充実する」に対して、子供から大人まで、多くの人々が訪れる施設でありました。							
	利用者のニーズは高いか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ×	今後も、本組合として、利用者の高いニーズがあることから事業を実施していく必要があり、次期政策体系においても、引き続き取り組んでいきたいと考えています。							
	本組合が関与する必要があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ×								
有効性	目的や目標の水準は妥当か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ×								
	目標を達成したか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ×	現政策体系の5年間に於いて、平成25年度の入館者は、6年ぶりに3度目の200万人突破を達成することができました。また、水族の調査・研究に取り組み、鯨類の繁殖による成果もあげることができました。							
	個別施策へ貢献したか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ×								
効率性	最小のコストで成果をあげているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ×								
	受益者に適正に負担させているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ×	現政策体系の5年間に於いて、平成22年度から平成25年度は二期目の指定管理者となりました。この制度を導入していることから、最小のコストで最大の効果をあげたと考えております。							
	効率的な運営主体となっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ×								

4 ACTION(取組)

個別施策評価結果による今後の取り組みの方向性	事務事業	成果	コスト	判断理由
	継続			コストを維持しつつ(指定管理業務)、目標の入館者数を継続するため。
個別施策評価結果を踏まえた来年度以降の取り組み				

目標の入館者数が達成できるように、毎月のモニタリングで指導・助言を行う。また、施設の良好な維持管理及び高質な利用者サービスを提供できるように指定管理者と協議していきます。